

➤資料1 (出典: JAXA資料)

超音速機分野には塗りつぶされていない「世界地図」 日本が確固たる地位を占めることができる分野
機体コンセプトの提案と実証で日本の技術力を効果的に示す対象であって技術挑戦が必要な分野
世界が着目する日本独自の技術(複合材、自然層流翼設計、低ブーム設計、低NOx燃焼器)ある分野
技術波及は超音速機にとどまらず、日本にとって効果的な航空技術基盤の高度化に資する分野

日本の航空機産業の飛躍的な発展に繋がる分野

日本は超音速輸送機の最大恩恵国

欧米の何れからも離れている日本、移動時間短縮の恩恵を最も受ける国
超音速輸送機の運航に適した島国としての地域性

日本こそ、その実現に貢献していくべき分野

利用者最大の苦痛「長時間飛行」からの解放

長距離航空輸送の時間短縮には高速化が唯一の解、将来必ず超音速輸送は求められる
航空旅客輸送におけるエコノミー症候群発症例は飛行時間6時間以上(6時間以下での発症例はない)

将来航空輸送として必ず求められる分野

日本こそ、超音速輸送の実現に技術貢献を果たすべき



飛行時間6時間の圏内